

一般質問



山岡 議員

○モンゴル村・つばき荘の今後のあり方について

質 市長は、かねがね松浦市の活性化を図るためには、交流人口対策が重要だと言っておられるが、鷹島地域には、元寇に関わる多くの題材があり、特にモンゴル村と神崎海底遺跡、それらを活用し鷹島地域が持っている新鮮な海の食材等を総合的に活用した地域づくりを行う必要があると考えますが、市長の考えは。

市長 モンゴル村が鷹島地域にとって重要な観光の核となる施設であると考えていますし、元寇終焉の地として、最近は多く取り上げられ、注目が高まっています。こういうものをしっかりとPRし、多くの方にまずは鷹島を訪れていただき、素晴らしい景色や非常においしい農水産物等を食していただいて、地域に賑わいを興していく、これを盛り上げるのが私どもの務めと思っています。

質 モンゴル村からバイオパークが撤退されてから4年以上経ちますが、その後の動きとして、市長は、ある大手観光会社の社長さんがモンゴル村に興味を示していただいておりますので訪問して誘致のお願いをしたいと言われましたが、その後どの

ようになりましたか。

市長 企業様としてはまだめどが立たないとのことなので、現時点ではほかの誘致を目指して取り組んでいくところです。

質 モンゴル村に企業が誘致できるまで、自由に草原又は自然を満喫したり、最近注目を浴びているキャンプ場等のアウトドアとして利用したりするといった運営の方法についての市長の考えは。

市長 コロナ禍による空前のキャンプブームの到来で、モンゴル村の利活用が増え知名度を上げることは、将来的な活用を図る上でも歓迎したいと考えており、キャンプという形での利用ができないか、開門時間や管理体制などの課題の整理をした上で、実現可能な具体的に検討したいと考えます。

○鷹島神崎遺跡の今後のあり方について

質 鷹島の観光の目玉の一つとして神崎海底遺跡があるわけですが、市長は今後どのようにされたいと思いますか。

市長 長年にわたって積み上げられた成果を生かし、国史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画書に基づき、着実に事業を進めたいと考えます。市民の皆様や関係団体の御協力をいただきながら、国内外に注目される水中遺跡の町として、日本の水中考古学の拠点を目指していきます。

一般質問



武部 議員

○史跡松浦党梶谷城跡保存整備基本計画の早期実現について

質 梶谷城跡保存整備基本計画書が県や学識経験者で約3年かけて、多額の経費もかけ策定されているにもかかわらず、計画が実現できなかった理由を説明してください。

文化財課長 史跡松浦党梶谷城跡保存整備基本計画では、平成5年から平成14年までの10年間で保存整備を行う計画が立てられていました。平成15年度に駐車場の舗装や便所の建設を行ったものの、文化会館の建設や不老山総合公園の整備など、大型事業が実施されたことと、基礎調査が計画どおりにできなかったことが大きな原因です。

質 元寇サミットやアンゴルモア、西海一の水軍松浦党の漫画によって観光客が増加している今がチャンスなので、梶谷城跡を整備すべきではないか。

文化財課長 現在作成を進めている文化財保存活用地域計画の中で、まちづくりや観光事業など他の行政分野と連携して、総合的な保存活用を進めていく枠組みをつくり、市全体の文化財を包括したところで検討していきます。

○つばき荘の運営について

質 令和3年4月からの指定管理者つばき荘を原点に立ち返るとして自主運営を条件に公募されたが、応募がなかったということですが、オープン当初から毎年度赤字経営の厳しい状況であり、温泉設備の不備、客室にはシャワーや風呂がない、地域の人の利用度が高い宴会場が狭く、経営コンサルタントの方は現状では誰が経営しても赤字の解消はできないと言われているので、費用対効果を基に改修を検討すべきだと思う。市長は、つばき荘は福島町の振興に当たってなくてはならない施設だと言われながら、宿泊施設の継続を条件に売却も選択肢とするとされています。ならば、公設民営で補助金を入れてでも運営すべきではないか。

市長 福島地域における公共施設の更新など様々な行政課題がある中で、さらに引き続き指定管理料を払い続けていくことが正しい判断なのかどうかを考えるときに、やはり原点に立ち返って、つばき荘を何とか存続させるために必要な事業者を全国から公募し、その企業が経営方針に基づいて設備更新をされるのであれば、それについて松浦市がその施設の改築に係る費用の一部を負担するというところで現在取り組んでいるところ

です。
現時点においては、指定管理料をお支払いせずに、つばき荘の運営を担っていただける事業者の誘致にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。